

●入試名称 大学 (問合先等)	学部 (学群・学域)	学科-専攻 (学類)	募集人員	出 願 資 格				選 考 方 法		2019年度入試日程			備 考	2018年度入試結果															
				対象課程	出願時区分	現浪区分	成績基準	特定条件(取得資格・活動実績等) ・求める学生像等	C T 教科科目	小論文・面接・その他 *提出書類(志願票以外)	出願期間	試験日	合格発表	可否判定評価法, 小論文・面接の内容, 新設, その他	出願者数 (センター数)	合格者数	競争率												
●AO入試 東京海洋大学 ★入試課 ℡(03)5463-0510 〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 出願：郵送	海洋生命科学	<A>(一般) 海洋生物資源	7/1	全	専	浪	×	次の全条件。(1)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッションポリシーおよび各学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者、(2)海洋生物資源学科=物・化・生・地学のうち2科目以上の履修者、海洋政策文化学科=物理系・化学系・生物系のうち、複数の系にまたがり2科目以上の履修者、(3)TOEIC400点、TOEFL-iBT40点、英検準2級以上等いずれかの有資格者 (注)海洋生物資源学科の募集人員は一般/水産教員養成課程を示す	×	1次=書類審査・小論文(①80分, ②90分) 2次=模擬講義・聴講論文(120分)・面接(個別) (書類)志望理由書, 英語資格検定証明書, 調査書	11.1 } 11.6	<1次> 11.22 <2次> 12.20	12.14 1.22	(注)面接→大学で学ぶための適性・学習意欲・熱意・好奇心・問題意識・コミュニケーション能力などについて評価する (注)本学部卒業後、水産専攻科へ進学し、海技免許取得を志望する者は身体検査基準に留意すること (注)1次では募集人員の3倍程度を合格とする (注)TOEIC→2016年8	82	8	10.3												
		海洋政策文化	3															20	3	6.7									
		(専門・総合学科) 海洋生物資源	1/1															水産	海	次の全条件。(1)区分A一般に同じ、(2)履修条件を満たす者、(3)海洋生物資源学科=TOEIC400点、TOEFL-iBT40点、英検準2級以上等、海洋政策文化学科=TOEIC365点、TOEFL-iBT38点、英検3級以上等いずれかの有資格者 (注)履修条件→次のいずれか。(1)物理系・化学系・生物系のうち、複数の系にまたがり2科目以上、(2)物理系・化学系・生物系のうち1科目、および「科学と人間生活」 (注)海洋生物資源学科の募集人員は一般/水産教員養成課程を示す	×	1次=書類審査・小論文(90分)・口頭試問 2次=模擬講義・聴講論文(120分)・面接(個別) (書類)志望理由書, 英語資格検定証明書, 調査書	8.1 } 8.6	<1次> 8.23 <2次> 9.13	8.31 10.12	月以降受験の場合はTOEIC L&R (TOEIC-IPを含む)	0	-	-
		海洋政策文化	若干																										
	海洋工	<A>(一般) 海事システム工 海洋電子機械工 流通情報工	7 6 5	工業 情報 総合	専	浪	×	大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッションポリシー、教育研究上の目的および各学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (注)区分Bの総合学科は工業・情報に関する科目20単位以上の修得者	×	1次=書類審査 2次=課題学習能力試験・模擬授業・課題論文(流通情報工学科=小論文)・面接 (注)1次では募集人員の3倍程度を合格とする (書類)志望理由・自己推薦書, 健康診断書(海事システム工学科・海洋電子機械工学科), 調査書	8.20 } 8.23	<1次> - <2次> 9.21	9.14 10.12	(注)海事システム工学科・海洋電子機械工学科・海洋電子機械工学科機関システム工学コース卒業後、船舶職員を志望し、乗船実習科に進学する者は身体検査基準に留意すること (注)ほかに帰国子女・社会人対象等を実施する	52 19 16	7 6 6	7.4 3.2 2.7												
	海洋工	(専門・総合学科) 海事システム工 海洋電子機械工 流通情報工	2 3 1															7 6 1	1 3 0	7.0 2.0 -									
	海洋工	<D>(商船教員) 海洋電子機械工	2															全	4.5	1	0	-							